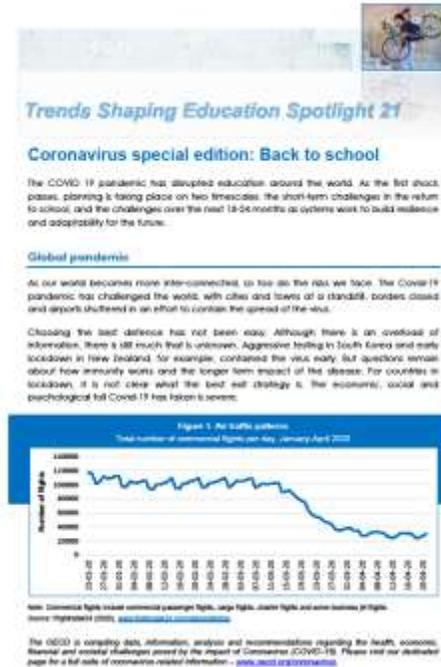
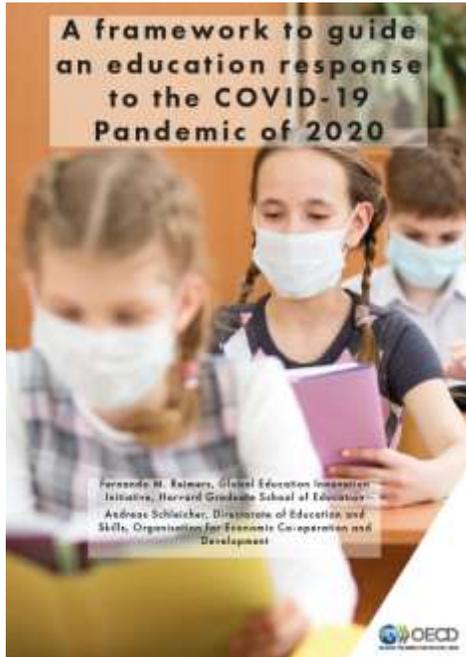


OECD最新レポートを読む： コロナ問題の学校教育への影響



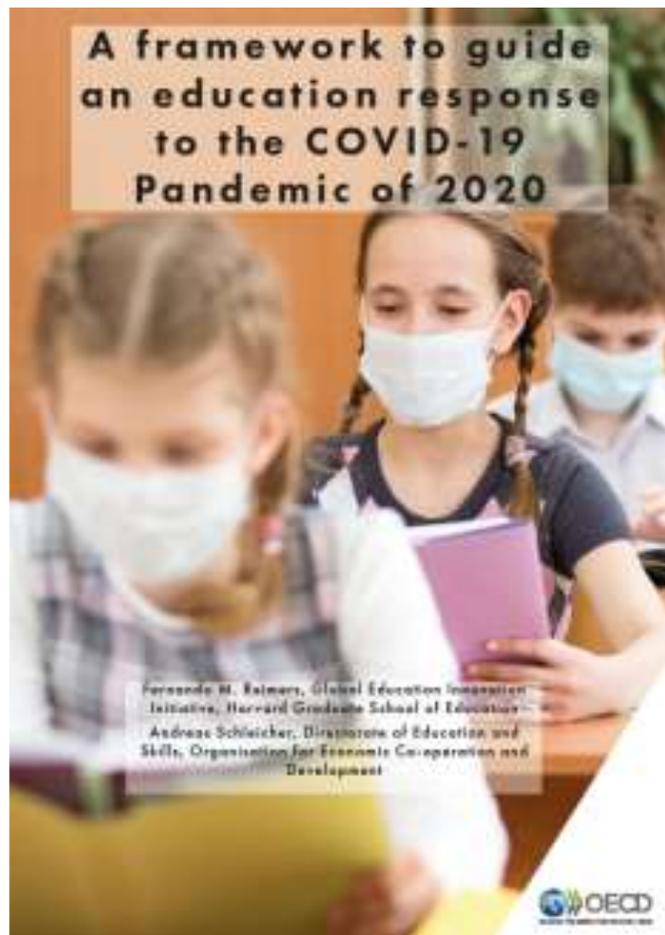
本日のプレゼンテーション

1. OECDのレポートの概要

2. OECDのレポートを私たちはどのように に読んだか？（活用方法の提案）

1. OECDのレポートの概要

2020年新型コロナウイルス感染症パンデミックへの教育における対策をガイドするフレームワーク



2020年3月末

Trends Shaping Education Spotlight 21 Coronavirus special edition: Back to school



2020年4月末

OECDとは？

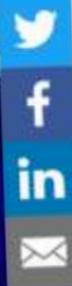
- Organisation for Economic Co-operation and Development（経済協力開発機構）
- 国際経済活動全体の協議を行うことを目的として設立（34か国が加盟）
- 「世界最大のシンクタンク」
- 教育に関する活動
 1. 生徒の学習到達度国際調査プログラム（PISA）
 2. 国際成人力調査プログラム（PIAAC）
 3. 国際教員指導環境調査事業（TALIS）

<http://www.oecd.org/coronavirus/en/>

Tackling coronavirus (COVID-19)

Contributing to a global effort

What are the impacts and consequences of the coronavirus pandemic on our lives and our societies – and what are some of the solutions we can find to boost our healthcare systems, secure our businesses, maintain our jobs and education, and stabilise financial markets and economies?



子どもにどのような影響があるか？

「vulnerableな子どもへの支援が不可欠だ」
「オンライン授業によって不公正が拡大している」
⇒ 厳しい子がもっと厳しい状況に

Vulnerable

= 社会的に脆弱な、身体的精神的に被害を受けやすい

児童虐待

オンライン授業に対応できない
(金銭的・家庭的・個人的)

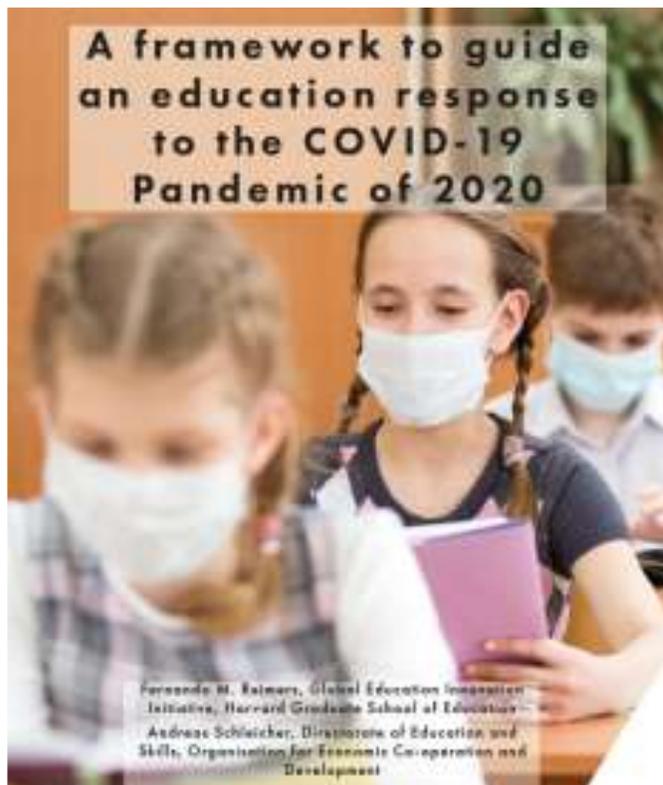
中高生の妊娠

...

前提

1. 不確実な状況で意思決定を行う
2. 子どもを中心に
3. 教員の専門性の重要性

2020年 新型コロナウイルス感染症パンデミックへの教育における対策をガイドするフレームワーク



教育分野のリーダーたちは、パンデミックの教育への影響を低減する戦略を開発し実行する即時的なステップを踏んでいくことが急務である。（…）

この文書の目的は、**そのような互いの知識の交流プロセスをサポートすること**にあり、2020年3月18日から3月27日にかけて実施した緊急評価（アセスメント）調査の結果に基づいてそれぞれの文脈に特定した**教育戦略の開発をガイドするフレームワーク**を内容として含んでいる。

（日本語版：p.6）

COVID-19（とそれに伴う休校）によって生じた教育的課題をどのように解消すればいいか、解決の方向性を示すための枠組み

A Checklist for an education response to the COVID-19 Pandemic

18.食料を届ける代替方法

19.メンタルヘルスサポート

20.日常的なコミュニケーションツール

21.教職員の状況の日常的な確認の仕組み

22.オンラインツールの安全な使用方法

23.学校ネットワークとのコミュニケーション

24.学校マネジメントのための支援

25.コミュニケーション・プラン

9.コミュニケーションのウェブサイト

10.教育を届ける代替方法

11.最も弱い立場にある子ども・保護者のサポート

12.子ども同士のコミュニケーションと協働

13.教師の専門性開発
保護者の学びの仕組み

14.子どもたちの評価
(アセスメント)の仕組み

15.進級と卒業のための適切な仕組み

16.教育の規制のフレームワークの改訂

17.学校の教育活動の維持のための計画

1.タスク・フォース
運営委員会

2.タスク・フォース
内のスケジュール

3.ストラテジーを生み出す諸原則の定義

4.公衆衛生当局との調整の仕組み

5.カリキュラムの目標の優先順位の再検討

6.縮減した学習時間の回復の選択肢の追求

7.教育を届ける手段
オンライン学習

8.学びのサポートの役割と期待

COVID-19パンデミックへの教育における

対策チェックリスト

COVID-19 パンデミックは、世界のほとんどの国で学校教育を根本的に混乱させた。危機に対応するためには、動的な課題に適応できる戦略的でスマートなシステムが必要であると同時に、確立された目標に向かって方針転換を図ることが必要である。

最初の衝撃が過ぎると共に、教育当局は2つのタイムスケールで対応を準備することになるだろう：短期戦略と今後18～24ヶ月間の中期戦略との双方で（レポートp.2）



短期的・長期的な見通しを
どのように立てるか

短期的視点 (the short term)

- 安全性の確保
- 進捗状況の評価
- 学習損失の影響を考慮して
- 健康の確保

中長期的視点 (the mid-term strategy for the next 18-24 months)

- イノベーションの実現
- 説明責任の再定義
- 物理的な世界の力を振り返る
- 「最も弱い立場の子ども」を支援する
- キャパシティを強化する
- システムのレジリエンスを構築する
- リソースの準備



2. OECDのフレームワークを 私たちはどう読んだか？

A Checklist for an education response to the COVID-19 Pandemic

1.タスク・フォース
運営委員会

2.タスク・フォース
内のスケジュール

3.ストラテジーを生み
出す諸原則の定義

4.公衆衛生当局との調
整の仕組み

5.カリキュラムの目標
の優先順位の再検討

6.縮減した学習時間の
回復の選択肢の追求

7.教育を届ける手段
オンライン学習

8.学びのサポートの役
割と期待

9.コミュニケーション
のウェブサイト

10.教育を届ける代替方法

11.最も弱い立場にある子
ども・保護者のサポート

12.子ども同士のコミュ
ニケーションと協働

13.教師の専門性開発
保護者の学びの仕組み

14.子どもたちの評価
(アセスメント)の仕組み

15.進級と卒業のため
の適切な仕組み

16.教育の規制のフ
レームワークの改訂

17.学校の教育活動の
維持のための計画

18.食料を届ける代替
方法

19.メンタルヘルス
サポート

20.日常的なコミュニ
ケーションツール

21.教職員の状況の
日常的な確認の仕組み

22.オンラインツールの
安全な使用方法

23.学校ネットワーク
とのコミュニケーション

24.学校マネジメント
のための支援

25.コミュニケーション
・プラン

COVID-19パンデミックへの教育における 対策チェックリスト

A Checklist for an education response to the COVID-19 Pandemic

1.タスク・フォース
運営委員会

2.タスク・フォース
内のスケジュール

3.ストラテジーを生み
出す諸原則の定義

4.公衆衛生当局との調
整の仕組み

5.カリキュラムの目標
の優先順位の再検討

6.縮減した学習時間の
回復の選択肢の追求

7.教育を届ける手段
オンライン学習

8.学びのサポートの役
割と期待

9.コミュニケーションの
ウェブサイト

10.教育を届ける代替方法

11.最も弱い立場にある子
ども・保護者のサポート

12.子ども同士のコミュ
ニケーションと協働

13.教師の専門性開発
保護者の学びの仕組み

14.子どもたちの評価
(アセスメント)の仕組み

15.進級と卒業のため
の適切な仕組み

16.教育の規制のフ
レームワークの改訂

17.学校の教育活動の
維持のための計画

18.食料を届ける代替
方法

19.メンタルヘルス
サポート

20.日常的なコミュニ
ケーションツール

21.教職員の状況の
日常的な確認の仕組み

22.オンラインツールの
安全な使用方法

23.学校ネットワーク
とのコミュニケーション

24.学校マネジメント
のための支援

25.コミュニケーション
・プラン

対策チェックリスト

COVID-19パンデミックへの教育における

A Checklist for an education response to the COVID-19 Pandemic

心身の健康と安全

20. 日常的なコミュニケーションツール

22. オンラインツールの安全な使用方法

オンライン活用

7. 教育を届ける手段
オンライン学習

13. 教師の専門性開発
保護者の学びの仕組み

23. 学校ネットワーク
とのコミュニケーション

18. 食料を届ける代替
方法

19. メンタルヘルス
サポート

21. 教職員の状況の
日常的な確認の仕組み

10. 教育を届ける代替方法

25. コミュニケーショ
ン・プラン

4. 公衆衛生当局との調
整の仕組み

11. 最も弱い立場にある子
ども・保護者のサポート

12. 子ども同士のコミュ
ニケーションと協働

1. タスク・フォース
運営委員会

2. タスク・フォース
内のスケジュール

3. ストラテジーを生み
出す諸原則の定義

24. 学校マネジメント
のための支援

17. 学校の教育活動の
維持のための計画

8. 学びのサポートの役
割と期待

9. コミュニケーショ
ンのウェブサイト

教育行政 学校マネジメント

5. カリキュラムの目標
の優先順位の再検討

6. 縮減した学習時間の
回復の選択肢の追求

14. 子どもたちの評価
(アセスメント)の仕組み

15. 進級と卒業のため
の適切な仕組み

16. 教育の規制のフ
レームワークの改訂

カリキュラム

COVID-19パンデミックへの教育における

対策チェックリスト

心身の健康と安全

— みんなのWell-beingを確保する —

- (1) 子どもの安全
- (2) 子どもの発達と健康
- (3) 教師の健康と安全
- (4) 家族の健康と安全

4. 公衆衛生当局との調整の仕組み

11. 最も弱い立場にある子ども・保護者のサポート

12. 子ども同士のコミュニケーションと協働

18. 食料を届ける代替方法

19. メンタルヘルスサポート

21. 教職員の状況の日常的な確認の仕組み

20. 日常的なコミュニケーションツール

22. オンラインツールの安全な使用方法

心身の健康と安全

—みんなのWell-beingを確保する—



4.公衆衛生当局との調整の仕組み

11.最も弱い立場にある子ども・保護者のサポート

12.子ども同士のコミュニケーションと協働

18.食料を届ける代替方法

19.メンタルヘルスサポート

21.教職員の状況の日常的な確認の仕組み

20.日常的なコミュニケーションツール

22.オンラインツールの安全な使用方法

生存を保証する

—超短期的タスク—

子どもの
安全

- 個々に異なる子どもの心身の状態を確認する
：身体的／精神的／性的虐待・ネグレクト
や食事の状況を把握

子どもの
発達と健康

- 体を動かすことを促す仕掛けづくり

教師の
健康と安全

- 職場環境の衛生管理
- 公共交通機関利用者の出勤時間をずらすと、
安全に通勤する手段を確保

家族の
健康と安全

- 学校の方針（最終目標・今後の予定）の説明
- 家庭での子どもたちの過ごし方についての
ニーズ調査→家庭では何が問題なのかを把握

安心感

全

—短期的タスク—

子どもの
安全

- コミュニケーションを目的とした場を設ける
→子どもが安心できる時間を共有する

子どもの
発達と健康

- 現実世界とデジタル空間の両方で多様な関わりを確保→人間は他者と関わる中で成長する

教師の
健康と安全

- 教職員間のコミュニティネットワーク構築
- 新しい授業形態の授業技術に関わる相談体制の構築（専門家との連携）

家族の
健康と安全

- オンラインツールや学校が出す課題に関する説明と相談窓口の開設

持続可能な
システム構築

—中長期的タスク—

子どもの
安全

- 学校のセーフティネット機能を見直し、危機的状況の子どもを取りこぼさないものに改善

子どもの
発達と健康

- 生徒及び保護者との連絡手段の確立
→ 平時にもいる不登校等で直接会えない生徒の心身状態を把握する手段にも用いる

教師の
健康と安全

- 新しい授業形態に応じた働き方改革

家族の
健康と安全

- 子どもが安心・安全に過ごすための家庭支援システムの構築
- 家庭における学習環境構築への支援

A Checklist for an education response to the COVID-19 Pandemic

心身の健康と安全

20. 日常的なコミュニケーションツール

22. オンラインツールの安全な使用方法

オンライン活用

7. 教育を届ける手段
オンライン学習

13. 教師の専門性開発
保護者の学びの仕組み

23. 学校ネットワーク
とのコミュニケーション

18. 食料を届ける代替
方法

19. メンタルヘルス
サポート

21. 教職員の状況の
日常的な確認の仕組み

10. 教育を届ける代替方法

25. コミュニケーショ
ン・プラン

4. 公衆衛生当局との調
整の仕組み

11. 最も弱い立場にある子
ども・保護者のサポート

12. 子ども同士のコミュ
ニケーションと協働

1. タスク・フォース
運営委員会

2. タスク・フォース
内のスケジュール

3. ストラテジーを生み
出す諸原則の定義

24. 学校マネジメント
のための支援

17. 学校の教育活動の
維持のための計画

8. 学びのサポートの役
割と期待

9. コミュニケーショ
ンのウェブサイト

教育行政 学校マネジメント

5. カリキュラムの目標
の優先順位の再検討

6. 縮減した学習時間の
回復の選択肢の追求

14. 子どもたちの評価
(アセスメント)の仕組み

15. 進級と卒業のため
の適切な仕組み

16. 教育の規制のフ
レームワークの改訂

カリキュラム

COVID-19パンデミックへの教育における

対策チェックリスト

カリキュラム

○教育の機会をいかに保障するのか？

○教育課程/カリキュラムを見直すきっかけにできるか？

5.カリキュラムの目標の優先順位の再検討

6.縮減した学習時間の回復の選択肢の追求

8.学びのサポートの役割と期待

9.コミュニケーションのウェブサイト

14.子どもたちの評価(アセスメント)の仕組み

15.進級と卒業のための適切な仕組み

16.教育の規制のフレームワークの改訂

17.学校の教育活動の維持のための計画

カリキュラム

〈超短期的タスク〉

①カリキュラムの優先順位の再検

(F5.14)－今何を提供することができるか（短期的タスクに共通）

→テストや課題を通して学力が定着しているかどうか＋在宅学習の上でどのよう
に自分で学習を設計できたのか(自己学習能力の把握・アンケート実施)

②各児童、生徒のオンライン環境の把握

→児童、生徒のオンライン環境によりカリキュラムを策定する。

(公教育において、オンライン環境による学習の機会の格差が起きてはならないため)

5.カリキュラムの目標の優先順位の再検討

6.縮減した学習時間の回復の選択肢の追求

8.学びのサポートの役割と期待

9.コミュニケーションのウェブサイト

14.子どもたちの評価(アセスメント)の仕組み

15.進級と卒業のための適切な仕組み

16.教育の規制のフレームワークの改訂

17.学校の教育活動の維持のための計画

カリキュラム

<短期的タスク>

①カリキュラムの優先順位の再検討(F5.14)

ー今何を提供することができるか

→テストや課題を通して学力が定着しているかどうか

+在宅学習の上でどのように自分で学習を設計できたのか
(自己学習能力の把握・アンケート実施)

②各学校のニーズに応じた優先順位の決定(F5.14)

ーどんな教育をしたいか

→中長期的なカリキュラムの自主編成にもつなげていく

③補習にならないためのオンライン授業づくり(F16.17)

→オンライン授業でも正式な授業時間としてカウントできるような制度
枠組みの構築

5.カリキュラムの目標の優先順位の再検討

6.縮減した学習時間の回復の選択肢の追求

8.学びのサポートの役割と期待

9.コミュニケーションのウェブサイト

14.子どもたちの評価(アセスメント)の仕組み

15.進級と卒業のための適切な仕組み

16.教育の規制のフレームワークの改訂

17.学校の教育活動の維持のための計画

カリキュラム

<長期的タスク>

- ①生徒や学校の状況に合わせて**カリキュラムを自主編成**していくきっかけにできるか ⇔短期的タスク②
- ②通信教育の企業や予備校業界との連携も視野に、オンライン等を駆使した**新しいカリキュラムや授業**をいかに創出できるか
→平時から学校に行かない/行けない子どもへ**教育を届けるノウハウ**を
⇔オンライン：長期的タスク②
- ③学校再開後には子どもたちの**メンタルケア**等の期間が必要(Spot)
→学校再開 **≠** カリキュラムの再開。このズレも含めて再開後の学校を考える

- 5.カリキュラムの目標の優先順位の再検討
- 6.縮減した学習時間の回復の選択肢の追求
- 8.学びのサポートの役割と期待
- 9.コミュニケーションのウェブサイト
- 14.子どもたちの評価(アセスメント)の仕組み
- 15.進級と卒業のための適切な仕組み
- 16.教育の規制のフレームワークの改訂
- 17.学校の教育活動の維持のための計画

A Checklist for an education response to the COVID-19 Pandemic

心身の健康と安全

20. 日常的なコミュニケーションツール

22. オンラインツールの安全な使用方法

オンライン活用

7. 教育を届ける手段
オンライン学習

13. 教師の専門性開発
保護者の学びの仕組み

23. 学校ネットワーク
とのコミュニケーション

18. 食料を届ける代替
方法

19. メンタルヘルス
サポート

21. 教職員の状況の
日常的な確認の仕組み

10. 教育を届ける代替方法

25. コミュニケーショ
ン・プラン

4. 公衆衛生当局との調
整の仕組み

11. 最も弱い立場にある子
ども・保護者のサポート

12. 子ども同士のコミュ
ニケーションと協働

1. タスク・フォース
運営委員会

2. タスク・フォース
内のスケジュール

3. ストラテジーを生み
出す諸原則の定義

24. 学校マネジメント
のための支援

17. 学校の教育活動の
維持のための計画

8. 学びのサポートの役
割と期待

9. コミュニケーショ
ンのウェブサイト

教育行政 学校マネジメント

5. カリキュラムの目標
の優先順位の再検討

6. 縮減した学習時間の
回復の選択肢の追求

14. 子どもたちの評価
(アセスメント)の仕組み

15. 進級と卒業のため
の適切な仕組み

16. 教育の規制のフ
レームワークの改訂

カリキュラム

COVID-19パンデミックへの教育における

対策チェックリスト

オンライン活用

- オンラインを駆使した学習機会の保障
- 教師－生徒－保護者間での相互関係の保障・構築
- 時間・空間的制限のないコミュニケーションづくり

7.教育を届ける手段
オンライン学習

8.学びのサポートの役割と期待

9.コミュニケーションのウェブサイト

10.教育を届ける代替方法

13.教師の専門性開発
保護者の学びの仕組み

20.日常的なコミュニケーションツール

22.オンラインツールの安全な使用方法

23.学校ネットワークとのコミュニケーション

25.コミュニケーション・プラン

オンライン活用

<超短期的的タスク>

- ①子ども、教師のオンライン対応状況の把握
- ②コンテンツを整える

7.教育を届ける手段
オンライン学習

8.学びのサポートの役割と期待

9.コミュニケーション
のウェブサイト

10.教育を届ける代替方法

13.教師の専門性開発
保護者の学びの仕組み

20.日常的なコミュニケーションツール

22.オンラインツールの
安全な使用方法

23.学校ネットワーク
とのコミュニケーション

25.コミュニケーション・プラン

オンライン活用 ＜短期的タスク＞

① 全ての人にオンライン環境を提供できる仕組みづくり

- オンライン環境でのvulnerability
- 資金面とスキル面

② 安全性の保証

- 個人情報の保護
- ウイルスや犯罪から守る
- 情報リテラシーの育成

③ 相互関係の保障・構築

- 子ども同士の関わり
(掲示板を活用した意見交流やオンライン授業での評価のフィードバック)
- 保護者を含んだコミュニケーションの構築
- 教師と子ども

7.教育を届ける手段
オンライン学習

8.学びのサポートの役割と期待

9.コミュニケーションのウェブサイト

10.教育を届ける代替方法

13.教師の専門性開発
保護者の学びの仕組み

20.日常的なコミュニケーションツール

22.オンラインツールの安全な使用方法

23.学校ネットワークとのコミュニケーション

25.コミュニケーション・プラン

オンライン活用

<中長期的タスク>

① 教師の負担への対応

→未知の状況＋一人ひとりへの対応

② オンラインの強み (オンラインだからできること)

を活かしていく **恒常的な仕組みづくり**

→オンラインでの教育方法の開発は学校に行かない/行けない子どもへの多様な教育支援の一助となり得るのではないか？(F. 10)

7.教育を届ける手段
オンライン学習

8.学びのサポートの役割と期待

9.コミュニケーションのウェブサイト

10.教育を届ける代替方法

13.教師の専門性開発
保護者の学びの仕組み

20.日常的なコミュニケーションツール

22.オンラインツールの安全な使用方法

23.学校ネットワークとのコミュニケーション

25.コミュニケーション・プラン

COVID-19 パンデミックへの学校教育における対応マトリックス

	心身の健康と安全 Well-being	カリキュラム Curriculum	オンライン活用 Online-Use
超短期的視点 the immediate-term ※1-2週間~1ヶ月			
短期的視点 the short term ※1年間			
中長期的視点 the mid-term strategy for the next 12-24 months ※1年~2年間			

※超短期的視点・短期的視点・中長期的視点の期間は、その期間に「終わる」ことではなく重視して取組を「始める」こと

	心身の健康と安全 <i>Well-being</i>	カリキュラム <i>Curriculum</i>	オンライン活用 <i>Online-Use</i>
超短期的視点 <i>the immediate-term</i> ※1-2週間~1ヶ月	(例えば、子どもたちの日々の生活状況・安全・健康の確認)	(例えば、カリキュラム上の優先順位の確認)	(例えば、安心とつながりを感じられる動画配信)
短期的視点 <i>the short term</i> ※1年間	(例えば、子ども・保護者・教職員の健康・安全の確認と支援の体制の構築)	(例えば、柔軟な単位認定、進級・卒業要件の認定)	(例えば、コンテンツリストの整備と相互交流の促進)
中長期的視点 <i>the mid-term strategy for the next 12-24 months</i> ※1年~2年間	(例えば、生と性に関わる長期的支援とそのシステム構築)	(例えば、優先順位の見直しに基づく学校カリキュラムの改善)	(例えば、反転授業・反復学習・多様な参加形態の模索)